

## 5 海外との技術交流などを通じたCO<sub>2</sub>排出抑制

国際協力機構（JICA）等の機関を通じた専門家の派遣・研修生の受け入れや、海外の電気事業者との情報交換を行うとともに、アジアを中心に、当社・グループ会社の技術・ノウハウを活かしたIPP事業\*や海外コンサルティングを展開しています。

\*：Independent Power Producer（独立系発電事業者）の略

### (1) IPP事業の展開

中国における風力発電所や、メキシコ、フィリピン、ベトナム及び台湾における天然ガスを燃料とした高効率な火力発電所の建設・運転により、CO<sub>2</sub>排出の抑制を図るなど、IPP事業を通して、グローバルな視点での地球温暖化問題に貢献しています。

また、インドネシアでは、スマトラ島サルーラ地区において、総出力32.08万kWの地熱発電所を2016年から2018年にかけて順次営業運転させるべく、伊藤忠商事(株)などと共に建設工事を行っています。本プロジェクトは、2014年3月に(株)国際協力銀行やアジア開発銀行などの銀行団と融資契約を締結し、同年5月に着工しました。



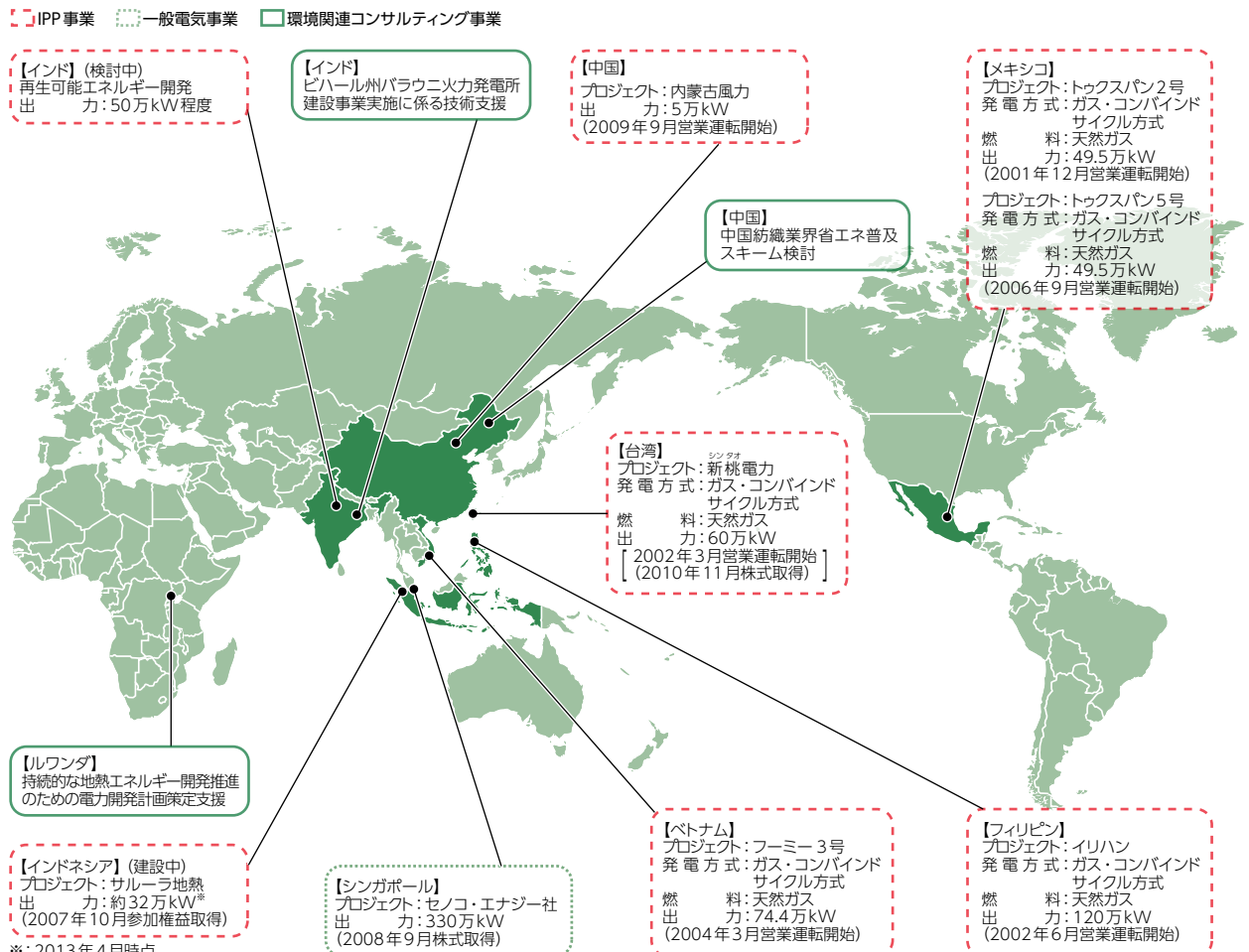
噴気試験の様子(サルーラ地区)

### (2) 海外コンサルティング

当社は、国内の電気事業を通じて蓄積した技術・ノウハウを活用し、アジアを中心とした海外で、発電・送配電・環境・省エネなどのコンサルティングに積極的に取り組み、各国の電力安定供給や環境改善、人材育成に貢献しています。

近年の主な案件としては、インド北東部に建設計画中の石炭火力発電所の高効率化可能性調査や、ルワンダの地熱開発及びこれに資する電力開発計画の策定支援調査、日本の紡織技術の移転による中国紡織業界の省エネ・環境ビジネス推進モデルの構築検討などを実施しています。

#### 海外での事業展開 (2013年度)



用語集を  
ご覧ください

- 国際協力機構 (JICA)
- IPP (独立系発電事業者)
- 天然ガス
- 地球温暖化
- 再生可能エネルギー
- コンバインド (サイクル)